

1 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率は、国語、算数とも全国平均を下回っており、児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得、課題を解決する力、思考力・判断力・表現力等の学力向上は喫緊の重要課題となっている。また、「児童質問紙調査」から、児童の学習意欲やねばり強く課題に取り組む態度に個人差が生じていることや家庭学習も含めた学習習慣の確立に課題が認められる。

2 真幸小学校における学力向上に向けた取組

- 習熟度別指導や少人数指導、発展的な学習、補充的な学習などの個に応じた指導を適切に実施したり、家庭学習の課題を適切に与えたりするなど具体的な指導内容や指導方法等の改善に向けた取組を行う。
- 課題が見られた児童に対しては、学習状況の改善や学習意欲の向上につなげていくという観点を十分考慮しながら、それぞれの課題に応じて、補充学習等の教育指導を適切に行う。
- 児童の思考力・判断力・表現力等を効果的に育成するため、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動や言語活動を一層充実する。あわせて、自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を計画的に取り入れるよう一層工夫する。
- 保護者の理解と協力の下に十分に連携をとりながら、家庭における学習習慣や生活習慣等の改善に向けた取組を行う。
- 真幸中学校と課題を共有して連携をとりながら取組を行う。